

Japan Medicine

CLINICAL & MANAGEMENT NEWS

©じほう 2008 禁無断複製

株式会社じほう

購読申込み専用電話 03-3265-7660 ■ 振替口座 00180-8-900480 番
購読申込み FAX 0120-65-7751 ■ 購読料 1年 47,880円 (税込価格/送料当社負担)

【東京本社】〒101-8421 東京都千代田区一ツ橋 2-6-3 一ツ橋ビル (新聞事業本部) TEL03-3265-8852
【大阪支局】〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7 アーバンエース北浜ビル TEL06-6231-7061 (代表)

1/11 2008 Friday
No.1208
月、水、金曜日発行 (祝日休刊)

CONTENTS

8 (新シリーズ)

2008年度診療報酬改定直前トピックス
—医療現場はいま (第1回)
大阪大産婦人科 木村正教授に聞く
止まらない産科縮小



大阪大産婦人科教授の木村正氏はここ数年、医師不足の中で医師供給のコーディネーター役を最大限務めてきた大阪大産婦人科の実情を訴える。

2 日医・唐澤会長が小脳出血で手術
「日医会長倒れる」
全国に動揺走る

5 (連載)
療養病床再編の現場を行く【第2回】
療養病床を5割削減へ

6 (The depths)
唐澤日医会長倒れる
混んとしてきた日医会長選

7 (Viewpoint)
実用化の
インフラ整備を急げ
再生医療元年

9 (Clinical view)
日本人のコレステロール疫学研究に
関するメタ解析結果
総コレステロール値は
高いほど安全!?

欧米諸国から研修生受け入れも

伝統医学に国際的な関心

日本の「漢方」はシンプルで実践的



日本の伝統医学「漢方」に国際的な関心が高まっている。米国立衛生研究所 (NIH) は日本の大学にも研究助成してエビデンスを明らかにしようとしており、EU諸国でも漢方医師が少ないながらも積極的な活動をしている。東アジアの伝統医学では、その起源となっている中国医学 (Traditional Chinese Medicine: TCM) の国際的な台頭が目立つが、日本の漢方はTCMに比べて医学論理がシンプルで実践的であることなどから分かりやすい伝統医学体系として関心を集めており、欧米から漢方を学ぶために来日する学生も少なくない。

漢方を含む東アジアの伝統医学については、世界保健機関 (WHO) も高い関心を寄せている。WHOは伝統医学に関する2004～10年のメインテーマとして「エビデンス・ベースド・アプローチによる標準化」を掲げている。

以来、伝統医学の国際標準化の気運が高まり、WHO西太平洋地域事務局 (WHO/WPRO) は関係9カ国を集め、05年10月までに3度の国際会議を開催。国際標準化の第一歩として、TCMを起源に持つ日本、中国、韓国の伝統医学について国際標準用語集を編さんした。

この「WHO西太平洋地域伝統医学国際標準用語集 (IST)」は昨年8月に製本化されると同時にWeb上でも公開された。WHO/WPRO伝統医学地域アドバイザーの崔昇勳氏は、昨年末に行われた日本での出版記念式典に出席し、「(先行した) 鍼灸の経穴ポイントの標準化に続いて、ISTがまとまったことで、国際標準化に向けた共通基盤ができた」と評価した。

さらに、「伝統医学の質や安全性、信頼性、効果、互換性のレベルが高まり、経済効果も期待できる」と指摘した。一連の標準化は伝統医学に関する多国間の議論の活性化にもつながると期待感を示した。

欧米からの留学生 慶大漢方講座では15名

明治以降の日本の医学教育は西洋医学が中心で、漢方医学教育はほとんど行われてこなかった。しかし、一変して02年度からは、医学教育モデル・コアカリキュラムが実践されており、その中の到達目標として「和漢薬を概説できる」ことが盛り込まれている。07年9月現在、漢方医学教育は大学医学部 (医科大学) の全80大学で8コマ以上の講義が行われ

ており、うち56大学では必修科目となっている (ツムラ調査)。

一方、欧米では「患者中心の医療」が求められるようになり、東洋の伝統医学に関心を持つ医師や医学生が増えつつある。

慶応大漢方医学講座の渡辺賢治准教授は「WHOや国際標準化機構 (ISO) の会議で伝統医学が取り上げられるようになり、国際的な潮流として伝統医学への関心が高まっている」という。その理由については、「西洋医学で解決できない疾病を、東洋医学の長年の伝統や英知を頼りながら解決しようという表れと考えられる」と指摘する。

同大漢方医学講座では04年度から、海外からのレジデントや医学生を受け入れてきた。その内訳は医学生7人、レジデント2人、医学部志望インターン生2人、医師2人、リサーチナース1人、研究者1人と、すでに15人を受け入れてきた。

出身国は、医学生では米国が3人で最多、デンマークが1人、オーストラリアが1人、オーストリアが1人、ドイツが1人で、レジデントの2人は米国からの留学で、欧米からの関心が高いことが分かる。さらに、同大には漢方国際フェロウシッププログラムがあり、日本滞在中の活動を支援。米国の医師が対象で、1年間の奨学金を出している。これまでに2人の受け入れ実績がある。

渡辺准教授は、「漢方研究者としての国際的な活動も行いやすくなった」と実感している。同講座では文部科学研究費や厚生労働科学研究費以外にも、米NIHの研究助成を受けたり、ランダム化比較試験 (RCT) などの国際共同研究にも参加してきた。

一方、中国は国策としてTCMの研究や国際化を支援し、プロモ-

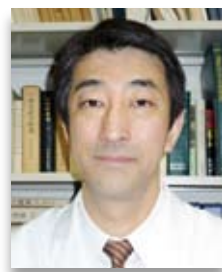
ーション活動を進めている。TCMの担い手は世界中に存在し、漢方医を数で圧倒している。英国には中国式鍼灸師が1万人いるが、漢方を扱う医師は北里研究所で8年間漢方医学を修めたG・ソリアーノ医師が育てた25人程度だという。英国ばかりでなく、米国やドイツ、オーストラリアなどかつて漢方がブームになった国でもTCMの医師 (中医師) が圧倒的多数を占めている状況だ。

ただ、「科学的な裏付けや品質などを考えると、日本の漢方は東洋医学研究のモデルとなる可能性がある」と渡辺准教授はいう。漢方はTCMに比べて、理論体系がシンプルでシステムズバイオロジーと結びつきやすく、臨床上も実践的であることが特長だ。

同講座に在籍していた米国籍のヤナ・ゲプシュタイン氏 (ナースプラクティショナー) は「漢方は西洋医学で解決できなかった臨床問題の扱いを助けることができる。それは人体、健康、治療について漢方独自の見通しを立てることができるためだろう。西洋医学の臨床家からみて、漢方の論理は他の東洋医学に比べて近づきやすい」と話す。

国際化が進む一方で、漢方にもエビデンスが求められている。RCTをはじめ臨床研究が実施されているが、エビデンスレベルが高い研究手法で漢方の有用性が証明されたことはほとんどない。

渡辺准教授は「漢方の臨床研究には、患者の個性や証 (しょう、漢方独自のみたてのこと) の普遍性を検証する新しい研究デザインが必要だ」と話す。さらなる国際化が進もうとする中、研究面の底上げと国の支援が欠かせない。



渡辺氏

Expert Pharmacist note

● がんチーム医療スタッフのための ●

がん治療と化学療法

監修 有森和彦
宮崎大学医学部附属病院教授 薬剤部長

編著 奥村 学
宮崎大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長

岩切 智美
宮崎大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長

定価 3,780円 (本体 3,600円)
B5判 / 370頁 / 2008年1月刊

今日のわが国における、がんによる死亡率は、三大死因である悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の中でも半数以上を占めます。そのため、がん対策基本法が施行される等、がん専門医師の育成、薬剤師や看護師によるがんチーム医療への参画が推進されています。本書では、主要16がん種の治療学、病態、標準的治療法から最新の化学療法までを網羅しました。また、各がん種のTNM分類と病期分類の対応およびレジメンの詳細を、全がん種で共通の形式で表記することで、系統立てて広範な知識をビジュアルに把握出来る構成としています。さらに、必要に応じ、原著に遡れるよう、情報の出典も明記しました。

株式会社じほう <http://www.jiho.co.jp>
東京 TEL.03-3265-7751 FAX.0120-657-769
大阪 TEL.06-6231-7061 FAX.0120-189-015